



# **長く住み続ける住宅を建てやすい会**

## **令和2年度地域型住宅グリーン化事業 ご説明**

**長く住み続ける住宅を建てやすい会**  
グループ事務局：株式会社中央グループ

# ➤ もくじ

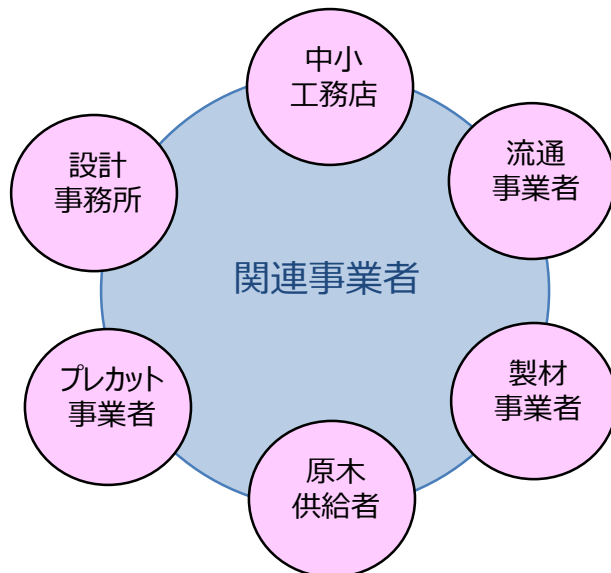
- ・事業目的（ P.3）
- ・対象物件の条件（ P.4～12）
- ・三世代同居対応住宅の要件（ P.13～18）
- ・任意ルール（ P.19）
- ・スケジュール(P.20・21)
- ・事業概要・注意事項・全体フロー（ P.22～35）
- ・費用（P.36）
- ・お問合せ（P.37）

# 事業・グループの目的

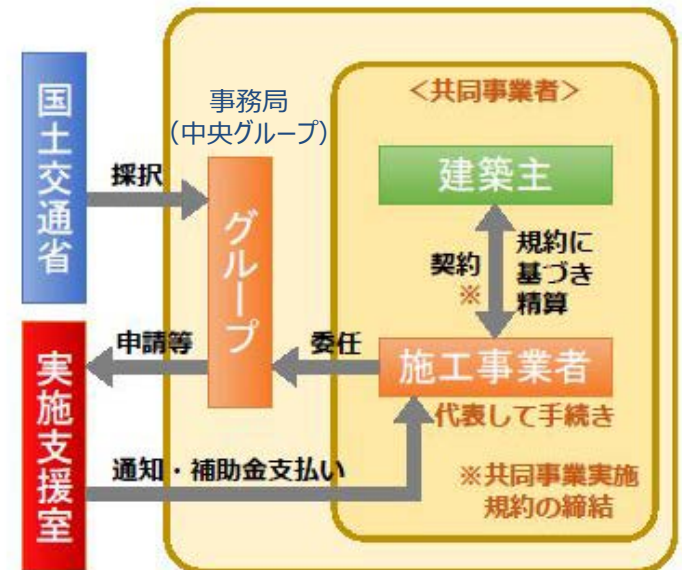
## 地域型住宅グリーン化事業の目的

- 中小工務店が、地域の関連事業者と連携し、優良な木造住宅の供給体制を強化する。
- 省エネルギー化に向けた技術力の向上。
- 子育てしやすい環境づくり。（三世代同居）
- 補助金制度がなくなっても、良質な住宅の生産が継続できる体制作り。

### <グループの構築>



### <実施体制>



## ◆次の全ての要件を満たす木造住宅◆

- 主要構造部が木造であること
- グループルール等に則し、グループ構成員の中小住宅生産者により供給される新築の住宅であること。
- 令和2年4月1日以降に請負契約を交わしている物件。
- 事業の種類に応じた下記の要件を満たすこと。

長寿命型	長期優良住宅の認定を受けたもの
ゼロ・エネルギー住宅型	①一次エネルギー消費量が正味（ネット）で概ねゼロとなる住宅であるもの ②ZEHの外皮強化基準値以下の性能を有するもの
高度省エネ型 （認定低炭素住宅）	低炭素建築物の認定を受けたもの
高度省エネ型 （性能向上計画認定住宅）	性能向上計画の認定を受けたもの

- グループ採択日（令和2年6月19日）以降に着工すること。

### ■ 住宅省エネルギー講習会の修了

対象住宅に係る事業者のうち設計者・施工管理者・大工技能者のいずれか1人が住宅省エネルギー技術講習会の修了者、または本事業で定める令和2年度に実施する講習会等の受講者であること。

### 住宅省エネルギー講習会とは？

H24～H30年度まで実施されていた「住宅省エネルギー技術講習会（施工技術者講習会、設計者講習会）」及び令和元年度に実施されていた「改正建築物省エネ法説明会及び住宅省エネ技術講習会」をいいます。詳細は講習会の全国事務局HPをご確認ください。

（全国事務局 HP）

<http://www.shoene.org/index.html>



## ★・・・グループルール

### ■ 地域材の活用

主要構造材にグループ指定の地域材を20%以上使用すること

グループ指定の地域材 → 合法木材認証制度

主要構造材 → 土台・柱・梁・桁

## 合法木材

どの山から伐採したか証明書が出る木材  
輸入材（米松など）も可能

## 一般的な地域材

かごしま県産材認証制度  
しずおか優良木材認証制度  
など

### <注意>

地域材はグループの構成員を通じての流通が必要です。

原木供給・製材・建材流通の事業者様が、当グループに加入しているかご確認下さい！

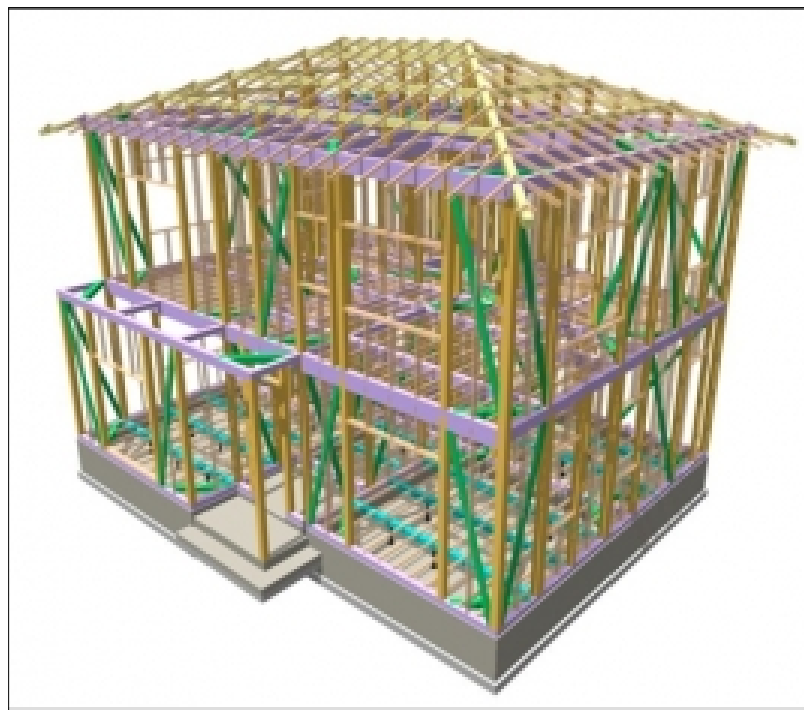
### ★・・・グループール

## ■ 長寿命型住宅

所管行政庁による長期優良住宅の認定

**許容応力度計算**による耐震等級2以上を確保

※許容応力度計算書データを、実績報告時に事務局に提出



出展：福井コンピュータ(株)

第二号様式（第六条関係）（日本工業規格A4用4番）

認 定 通 知 書

川崎市総合企画推進部 様  
平成22年6月2日

認 定 番 号 第22川崎長建・101 号  
認 定 年 月 日 平成22年6月2日

(第) 棟 号 第 号  
棟 年 月 日 年 月 日  
建築主の氏名

川崎市長 阿部 孝夫

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第5条（第1項）の規定に基づき申請のあった長期優良住宅建築等計画について、同法第6条第1項の規定に基づき認定しましたので、同法第7条の規定に基づき通知します。

1. 申請年月日  
平成22年5月21日

2. 申請者の住所  
神奈川県川崎市中原区上木2丁目1番1号

3. 認定に係る住宅の位置  
神奈川県川崎市中原区上木2丁目1番1号

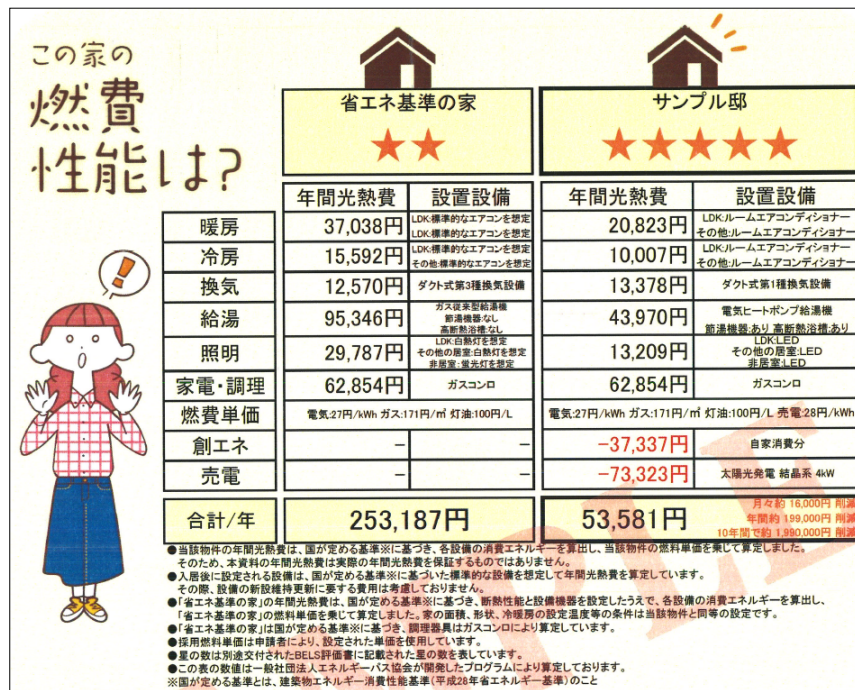
4. 認定に係る住宅の構造  
木造

(第) は第6条第4項において準用する建築基準法（昭和25年法律第201号）第18条第3項の規定により所管行政庁が建築確認の交付を受けた場合に記入されます。

認定通知書



### ★燃費を明示する例★



# エネルギーパス



★…グループルール

### ■ゼロ・エネルギー住宅

ゼロエネ基準 = 経済産業省ZEH基準(平成31年度)

地域 区分	1	2	3	4	5	6	7	8
UA値	0.40以下		0.5以下	0.60以下				無基準
R値	100%以上							
Ro値 (太陽光なし)	20%以上							

Ua値…ZEH強化外皮基準

R値…再生可能エネルギー（太陽光発電）を**加えた**、基準一次エネルギー消費量からの削減率

Ro値…再生可能エネルギー（太陽光発電）を**除いた**、基準一次エネルギー消費量からの削減率

# ゼロエネ



実際はBEIで計算

**-20%**  
BEI 0.8

## ZEH基準

対応（別途太陽光発電設置が必要）

60万

## ★・・・グループール

### ■ 認定申請で下りた図面を現場で使用する。

※長期優良住宅・低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の認定申請時に提出した図面

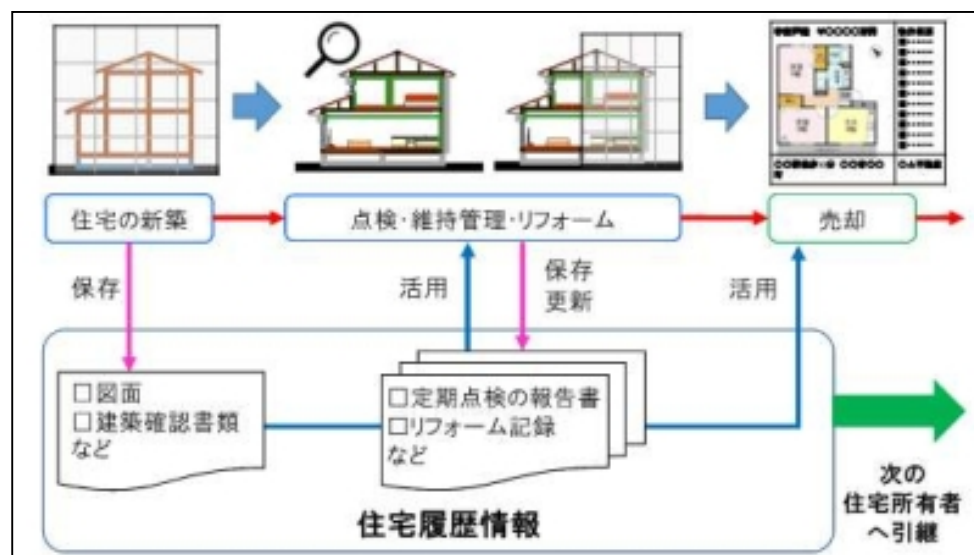
### ■ 住宅履歴情報の蓄積

住宅履歴情報が蓄積できるシステムを活用する。

施工事業者と施主がWEBシステムで情報共有できる仕組みとする

(住宅履歴情報の例)

- ・新築時の図面、工事記録
- ・建築確認申請の書類、長期優良住宅 や BELS認証 など性能を証明する書類
- ・点検の結果、リフォームの記録



出展：国土交通省「住宅履歴情報とは」

URL：[http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku\\_house\\_tk4\\_000001.html](http://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/house/jutakukentiku_house_tk4_000001.html)

## ★・・・グループルール

### ■維持保全計画の実施

維持保全計画書を作成し、計画書に基づいた点検を実施する

※実績報告時に、事務局に維持管理計画書又は、メンテナンススケジュールを提出する。

別添：維持保全計画書（参考様式）

記入例

維持保全計画書（30年間）

点検部位	主な点検項目	点検の時期 (竣工より)	定期的な 手入れ等	更新・取替 の時期、内容
構造 躯体	基礎 コンクリート基礎立ち上がり	ひび割れ、欠損、沈下、 換気口のふさがり、錆び、 蟻道等	5、10、15、20、25、 30年	— 建替え時に更新
土台	土台	基礎からのずれ・浮き、 断崖欠損、腐朽・蟻害等	5、10、15、20、25、 30年	5年で防 腐・防蟻処 理 建替え時に更新
床組	大引き、床 束、根太	腐朽・蟻害、傾斜、たわみ、 床鳴り、変動等	5、10、15、20(取替)、 25、30年	5年で防 腐・防蟻処 理 20年で全 面取替を検討
軸組	柱、間柱、筋 かい、圓垂	傾斜、断崖欠損、腐朽・ 蟻害等	10、20、30年	— 建替え時に更新
小屋組	たる木、も や、棟木、小 屋づか	雨漏り等の腐、小屋組の 接合部のわれ	10、20、30年	— 建替え時に更新
屋根	屋根	瓦ふき ずれ、はがれ、浮き、わ れ、雨漏り、変形等	5、10、15、20(取替)、 25、30年	20年で全 面取替を検討
外壁・ 外壁・ 開口部 等	サイディング 壁(窯業 系)	割れ、欠損、剥がれ、シ ーリング材の破断等	3、6、12、15(全面 補修)、18、21、24、 27、30年	3年でト ップコー ト吹替え 15年で全 面補修を検討
雨樋	雨樋	破損、詰まり、はずれ、 ひび、軒端のずれ下り	3、7(取替)10、14(取 替)17、21(取替)24、 30年	7年で全 面取替を検討
軒裏	軒裏天井	腐朽、雨漏り、はがれ、 たわみ、ひび割れ	3、6、12、15(取替)、 18、21、24、27、30 年	15年で全 面取替を検討
開口部	屋外に面す る開口部	建具周囲の隙間、建具の 開閉不良等	5、10、15、20(取替)、 25、30年	15年で全 面取替を検討
設備	配管設備	給水管 漏水、ホセ、給水流量の 開閉不良等	5、10、15、20(取替)、 25、30年	水漏れは 直ちに補 修 15年で全 面取替を検討
	排水管	漏水、排水の滞留	5、10、15、20(取替)、 25、30年	水漏れは 直ちに補 修 15年で全 面取替を検討

留意事項等：

- 地震や台風時の後、当該点検の時期にかかわらず臨時点検を行うものとする。
- 各点検において、劣化の状況に応じて適時維持保全の方法について見直すものとする。
- 点検結果を踏まえ、必要に応じて、調査、修繕又は改良を行う。
- 長期優良住宅建築等計画に変更があった場合、必要に応じて維持保全の方法の変更を行うものとする。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
①計画予定1										
②計画予定2										
③計画予定3										
④計画予定4										
⑤計画予定5										
⑥計画予定6										
⑦計画予定7										

メンテナンススケジュール(参考様式)

維持保全計画書

### <要件>

子育てしやすい環境整備を図るため、以下の条件を満たす三世代同居など**複数世帯の同居に対応した**新築住宅について補助額を加算する。

**調理室、浴室、便所又は玄関のうち、  
いずれか2つ以上を住宅内に複数箇所設置すること**

**※申請時の世帯数は問われません**

## ◆対象となる設備の概要

### (1) 調理室の条件

調理室については、下記の①～③をいずれも設置していること

①給排水設備と接続されたシンク及び水栓（キッチン用）

②コンロ又はIHクッキングヒーターを設置

（ガス栓かIH専用コンセントを設け専用スペースでも可）

③換気設備（換気扇 ※パイプファンNG）

④IHの場合でも150m<sup>3</sup>/h 程度以上の換気量があること



※画像はイメージです。

★要件に適合★



換気扇がないので  
要件に不適合



## ◆対象となる設備の概要

### (2) 浴室の条件

給排水設備及び給湯器に接続された**浴槽又はシャワー**があり、  
**防水の措置**がされている  
脱衣所が同一の場合、1 箇所と判断する



★要件に適合★



★要件に適合★

## ◆対象となる設備の概要

### (3) 便所の条件

大便器があること。小便器のみでは要件を満たしません。



★要件に適合★



小便器は不適合

## ◆対象となる設備の概要

### (4) 玄関の条件

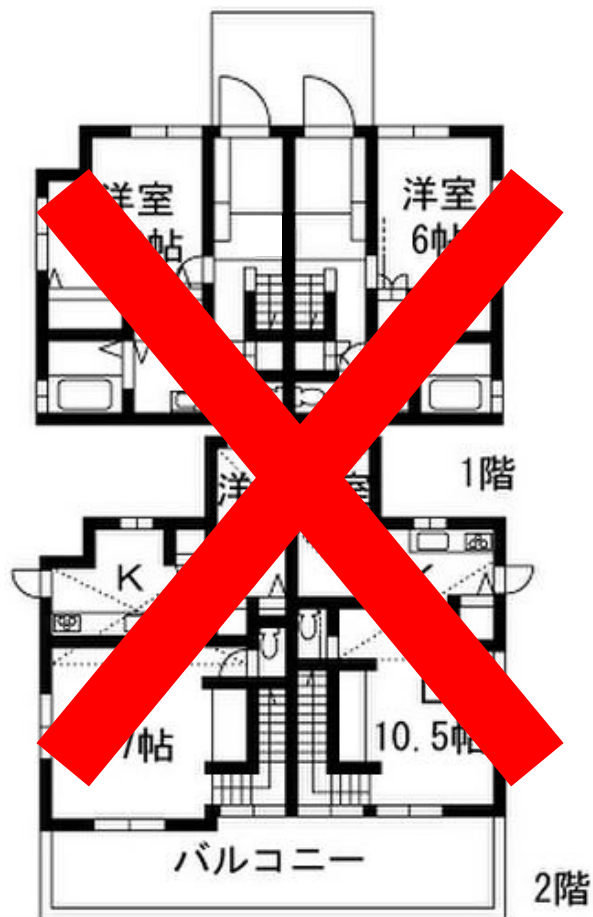
- ①玄関と室内土間（収納があり、それぞれの土間の面積が同等）があること。  
勝手口（家族のみ利用する、調理室、車庫等に直接出入するためのもの）  
や外側から施錠出来ない出入口は対象外です。
- ②玄関と部屋の間、ホール又は前室があることが条件です。  
※アプローチ等があり、玄関として機能していることが条件です。
- ③玄関度の幅は開き戸800mm以上、引き違い戸・片引き戸の場合は  
1,600mm以上とする
- ④扉が複数でも、内部が同一空間や動線が重複する場合は1ヶ所と判断されます。



★要件に適合★



勝手口は不適合



完全二世帯住宅

※長屋扱い 条件未達成！



三世代同居住宅

※戸建住宅 条件クリア！

## <重要>

全ての条件をクリアしていても  
部屋数があきらかに足りない等、間取りの関係で  
三世代同居として認められない場合がございます。  
判断に迷う場合は、事務局へ図面をお送り下さい。  
確認致します。

## 高品質の住宅を安定した品質と適正な価格で 消費者に提供するため、下記を取組みを推奨する

### ■ 自社若しくは第三者による現場検査

民法改正に伴う請負契約の重要性が高まったことを鑑み、  
【図面＝現場＝竣工図】となるための現場検査

### ■ 標準設計ルールの作成

標準設計ルールを作成する

- ・設計工程の標準化
- ・長期優良住宅やBELSやZEHの仕様を標準化
- ・図面の標準化

### ■ 長期保証（維持管理型保証）

20年若しくは30年の延長保証

# ➤ スケジュール（No.1）

◆本事業の配分方式は、2種類あります。

- I 期（事前枠付与方式）：令和2年7月20日～令和2年10月30日  
→グループに割り当てられた額を、事務局（中央グループ）が各事業者に分配する。
- II 期（先着順方式）：令和2年11月上旬～令和3年1月29日  
→I 期で余った額を、全国の事務局が先着順に獲得する。

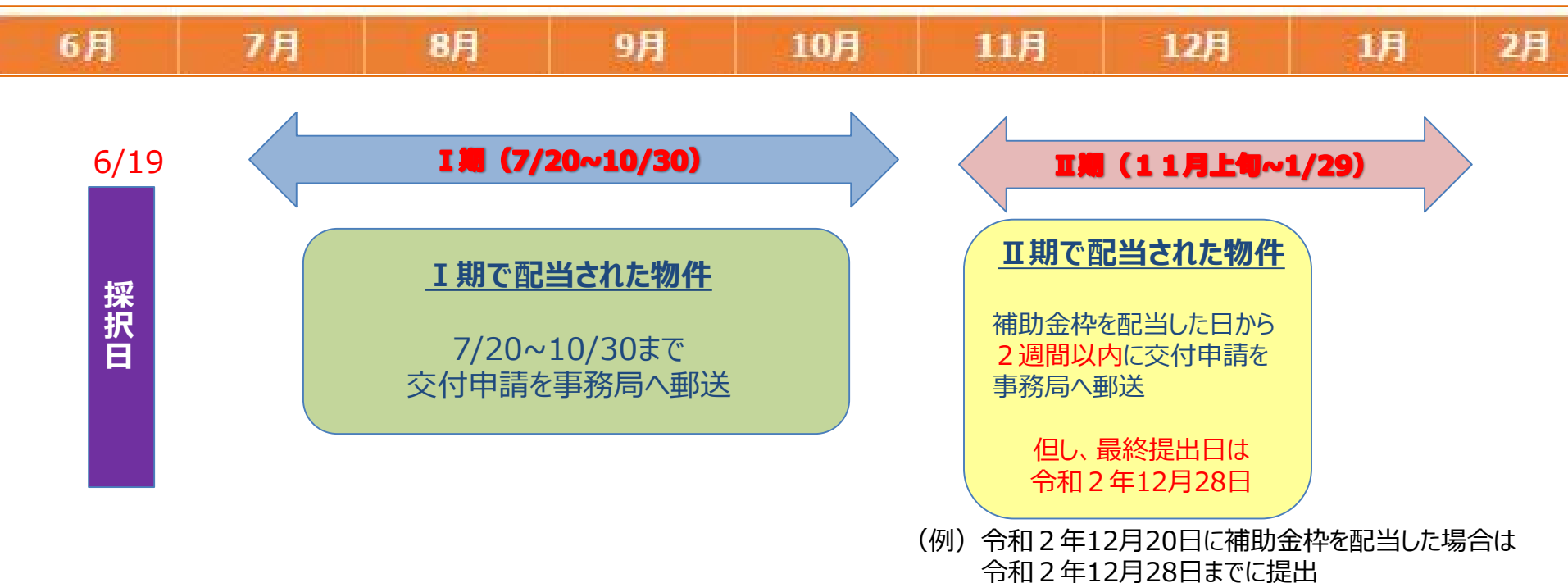




# ➤ スケジュール (NO.2)

## ◆ 交付申請書の提出期限

- 配当された時期（Ⅰ期 or Ⅱ期）によって、交付申請書の提出期限が変わります。  
必ず期限は守って下さい！ 提出期限を過ぎると自動的に補助金枠が削除されます！



## ◆ 実績報告書の提出期限

- Ⅰ期・Ⅱ期共通：令和3年1月15日までに事務局へ提出  
※現時点での日付です。変更になる可能性があります。

# 事業概要

## ◆1戸当たりの補助金額について

●補助金額は、過去の補助金の活用戶数によって異なります。

### ■長寿命型（長期優良住宅）

経験工務店：100万円

未経験工務店：110万円

### ■ゼロ・エネルギー住宅型

経験工務店：125万円

未経験工務店：140万円

### ■高度省エネ型（認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅）

経験工務店：100万円

未経験工務店：110万円

### ～オプション～

☐ 地域材加算：20万円

☐ 三世代加算：30万円

#### <重要>

- ・補助金額分を工事費から差し引いた額を契約額としてはいけません。
- ・工事費の支払いの際に、補助金額を猶予し、施工事業者が受領した補助金を充当してはいけません。（追加契約の同様）

#### ※未経験工務店・経験工務店とは・・・

平成27年度～令和元年度における「グリーン化事業」を活用した供給戸数が下記のカテゴリ毎に3戸以下の施工事業者

- 長寿命型：長期優良住宅が3戸以下
- ゼロ・エネルギー住宅型：ゼロ・エネルギー住宅が3戸以下
- 高度省エネ型：認定低炭素住宅＆性能向上認定住宅の合計が3戸以下

# 事業概要

## ◆施工事業者 1 社が受けられる補助金枠数の上限について

### ● I 期（事前枠付与方式）

	長寿命型		ゼロ・エネルギー住宅型		高度省エネ (低炭素・性能向上)	
未経験・経験	未経験	経験	未経験	経験	未経験	経験
上限枠数	5枠	5枠	3枠	3枠	3枠	3枠
三世代加算を利用する場合	上記+2枠	上記+2枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠

### ＜被災地に存する施工事業者の場合＞

	長寿命型		ゼロ・エネルギー住宅型		高度省エネ (低炭素・性能向上)	
未経験・経験	未経験	経験	未経験	経験	未経験	経験
上限枠数	10枠	10枠	5枠	5枠	5枠	5枠
三世代加算を利用する場合	上記+2枠	上記+2枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠

### ※被災地に存する施工事業者とは・・・

「東日本大震災」「平成28年熊本地震」「平成30年度7月豪雨」「平成30年北海道胆振東部地震」又は、「令和元年台風19号」により被災した地域。

被災地に該当するか、不明な場合は事務局までお問合せ下さい。

# 事業概要

## ◆施工事業者 1 社が受けられる補助金枠数の上限について

### ●Ⅱ期（先着順方式）

Ⅰ 期中に、未経験工務店の活用実績が一定数以上あったグループは、Ⅱ期より施工事業者 1 社が受けられる補助金枠数の**上限が増えます**。

※全ての施工事業者が対象です。Ⅱ期からこちらの表で上限を確認します。

※利用戸数は、Ⅰ・Ⅱ期を通してカウントして下さい。

当グループは、すでに条件をクリアしています！

	長寿命型		ゼロ・エネルギー住宅型		高度省エネ (低炭素・性能向上)	
未経験・経験	未経験	経験	未経験	経験	未経験	経験
上限枠数	8枠	8枠	5枠	5枠	5枠	5枠
三世代加算を利用する場合	上記+2枠	上記+2枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠

Ⅰ期から  
長期：3枠  
長期以外：2枠  
追加！

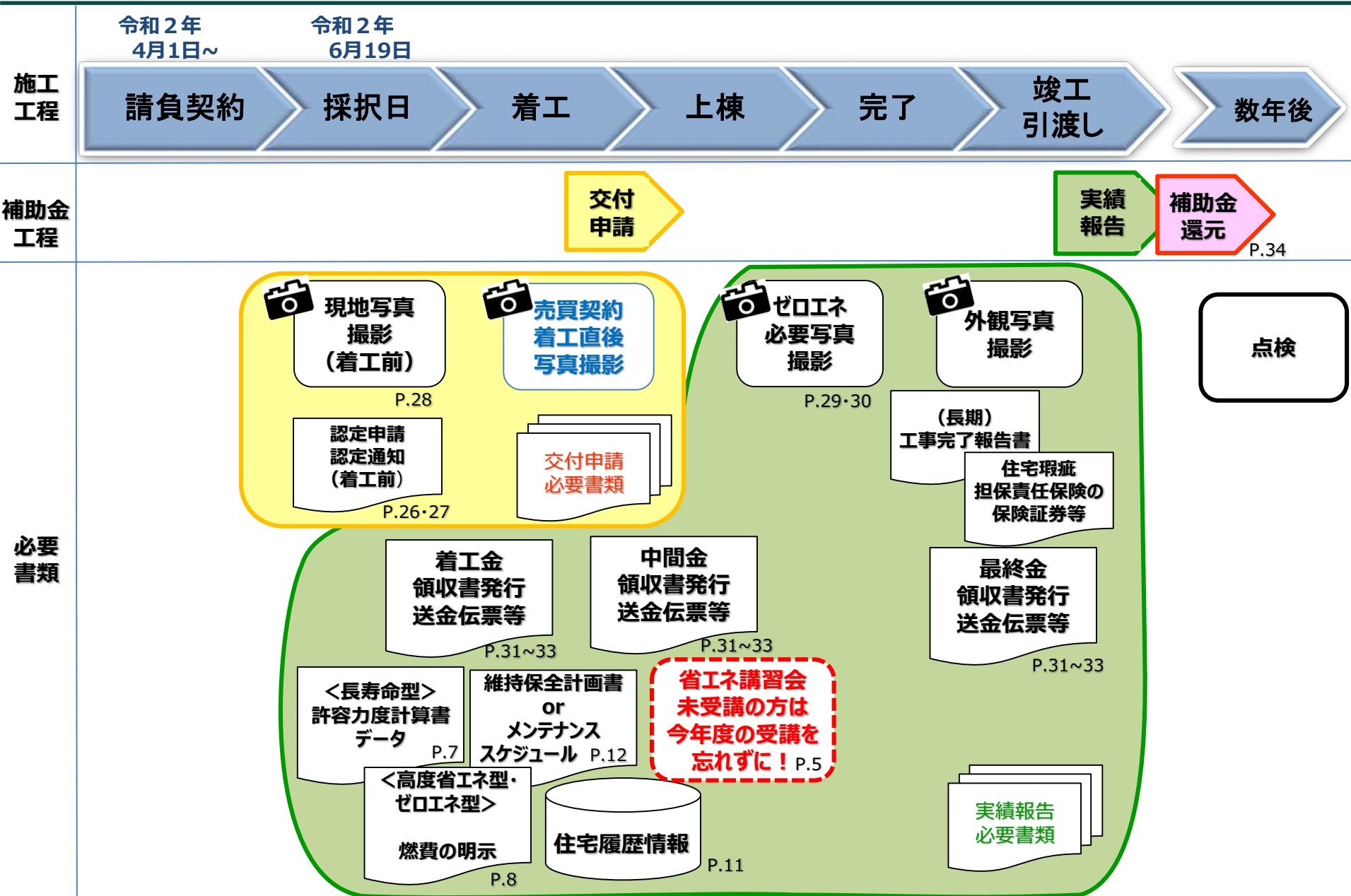
### ＜被災地に存する施工事業者の場合＞

Ⅰ期から  
長期：4枠  
長期以外：2枠  
追加！

	長寿命型		ゼロ・エネルギー住宅型		高度省エネ (低炭素・性能向上)	
未経験・経験	未経験	経験	未経験	経験	未経験	経験
上限枠数	14枠	14枠	7枠	7枠	7枠	7枠
三世代加算を利用する場合	上記+2枠	上記+2枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠	上記+1枠



# 全体フローイメージ





## ◆着手・着工・完了とは…(NO.1)

- 着手**：令和2年4月1日～交付申請日までに請負契約の締結をすること。

※売買契約の場合、採択日（令和2年6月19日）から年度内に着工する事。  
但し、令和3年1月15日までに実績報告の提出ができるように着工して下さい。

- 着工**：根切工事または基礎杭打ち工事に着手した時点。

※柱状改良による地盤改良も着工に当たります。

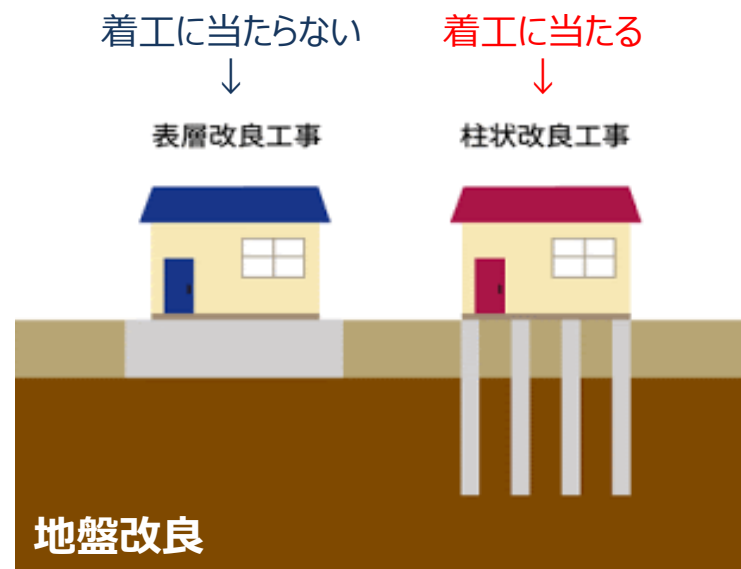
### <注意>

計画変更で追加した施工事業者の  
着工可能時期

↓  
計画変更受付期間の最終日の  
翌日以降に着工が可能になります。

（例）第1回計画変更

受付時期：令和2年8月24日～8月28日  
着工可能は令和2年8月29日以降となります。

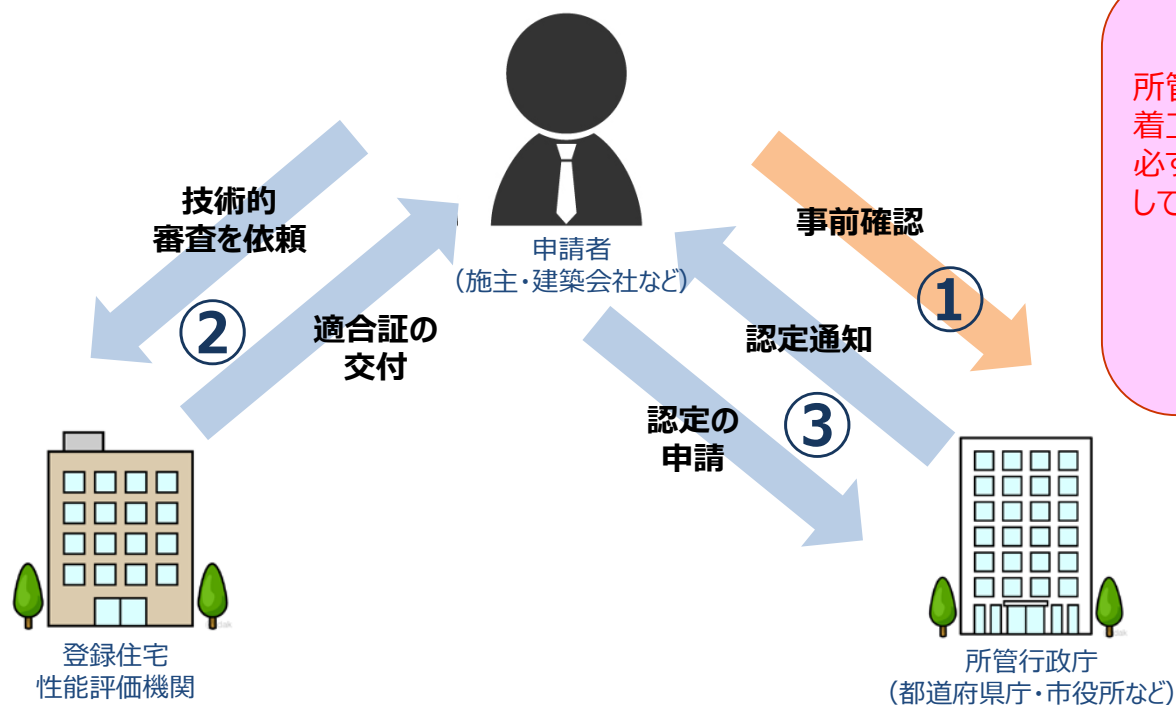






## ◆着手・着工・完了とは…(NO.2)

長期優良住宅や認定低炭素住宅等は**着工前に**所管行政庁に認定申請が必要です！  
必ず事前確認をして、対象住宅に関わる関係法令も順守して下さい。



### <重要>

所管行政庁により  
着工可能なタイミングが異なります。  
必ず事前に所管行政庁に確認を  
して下さい。

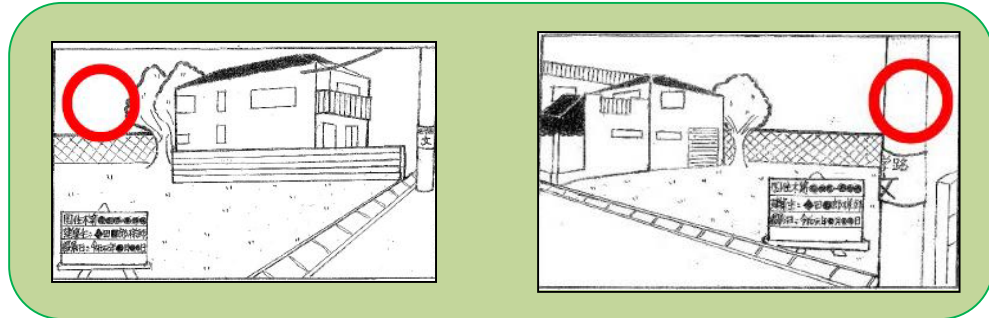
認定申請後：着工OK  
もしくは  
認定通知後：着工OK

- 完了：工事が完成し、契約額全額の支払いを終え、引渡しを終えたこと。  
※売買契約の場合、買主が決定し売買契約が締結されないと事業完了になりません。

## ◆交付申請時の注意事項(令和 2 年度より変更)

● 交付申請時、**採択日（令和 2 年 6 月 19 日）**より前に着工していない事が確認できる書類を提出します。下記のいずれか 1 つ。 ※ゼロ・エネの場合は、①②のどちらか

①  
採択日以降に撮影した  
着工前の現地写真 →  
※撮影方法については次のページ



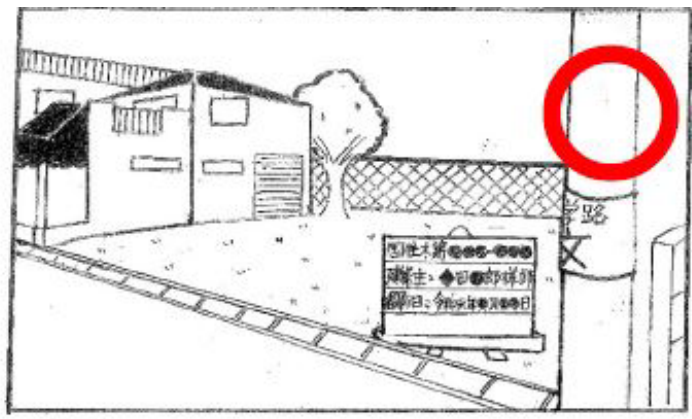
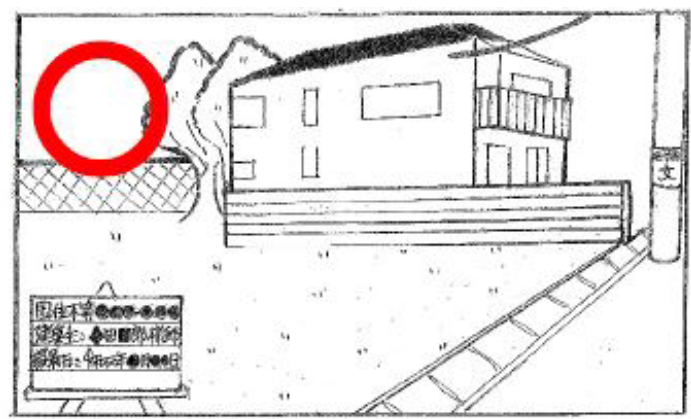
②  
採択日以降に  
交付された  
「確認済証」→  
の写し



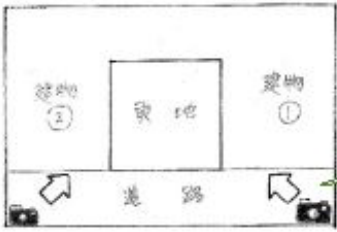
③  
←採択日以降に  
認定申請した  
「認定通知書」  
の写し

## ◆現地写真の撮影方法について

<良い例>



※交付申請時に、写真2枚の提出が必要です。  
(左右から撮影した写真を1枚ずつ)



異なる2箇所から、異なる方向の周辺の建物等を写し込むことができる位置で撮影してください。

<悪い例>



## 事業概要・注意事項

## ◆実績報告時の注意事項（ゼロ・エネルギー住宅：写真台帳 No.1）

- 令和2年度では、**施工中の断熱材の写真が不要になりました。**  
**出荷証明書や施工証明書で、部位ごとの厚み・使用量を確認します。**  
 但し、給湯ヘッダーの写真は引き続き提出が必要です。  
 ※その他、撮影箇所の一覧へ次ページ



## 摄影不要



## 撮影必要！撮り忘れ注意！



## ◆実績報告時の注意事項（ゼロ・エネルギー住宅：写真台帳 No.2）

### ●ゼロ・エネルギー住宅の場合は、

撮影箇所は多数ございますので

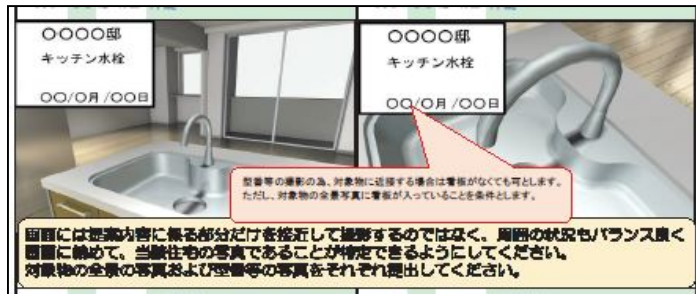
事前にご確認をお願いいたします。

撮影箇所の一覧は、ゼロ・エネルギーの  
実績報告の様式と一緒にホームページに

掲載しております。

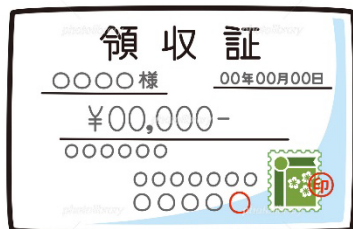
<http://www.negplan.com/subsidy.html>

(例)



<b>1) 共通事項</b> ・「写真台帳」で提出が必要な写真は下記の通りです。 ・外皮性能に係わる全ての要素 ※断熱材は断熱材の写りの提出が不要になりました。（断熱材は改修のみ写真提出） ・一次エネルギー消費量算定に係わる全ての要素 ・一次エネルギー消費量算定には反映しないが設置した設備（設置した全ての設備） ・建物の外観および内観 ・その他状況に応じ必要なもの ・写真には 撮影日、建築主名または物件名、工事内容 を明記した看板を入れ撮影してください。 ※様式ダウンロードページにカード型の看板のご用意があります。よろしければご活用ください。 ・電子看板は原則として使用不可とします。 ・手振れ、ストロボ、目射等の影響により、 ・設置箇所を確認出来る全景を撮影したもの ・必要に応じ、一要素の写真を複数枚提出し													
<b>2) 外観・内観等</b> <table border="1"> <tr> <td>外観</td><td>・住宅全家がわかるように撮影</td></tr> <tr> <td>外壁面</td><td>・足場撤去後に撮影した、全</td></tr> <tr> <td>※全ての開口部</td><td>※主に開口部を確認します。</td></tr> <tr> <td>内観</td><td>・主たる居室（LDK）を一枚提出すること。</td></tr> </table>		外観	・住宅全家がわかるように撮影	外壁面	・足場撤去後に撮影した、全	※全ての開口部	※主に開口部を確認します。	内観	・主たる居室（LDK）を一枚提出すること。				
外観	・住宅全家がわかるように撮影												
外壁面	・足場撤去後に撮影した、全												
※全ての開口部	※主に開口部を確認します。												
内観	・主たる居室（LDK）を一枚提出すること。												
<b>3) 断熱材</b> ・断熱材（断熱材・断熱材）は、提出不要です。 ・改修のみ提出が必要で、 ・各施工部位毎（屋根、天井、 ・使用する断熱材の商品名、 ・断熱材施工後の全景を確認 ※部分的にしか確認できない ・二層階等断熱材を複数枚提出 ・外張り断熱・充填断熱の併用													
<b>4) 開口部</b> <table border="1"> <tr> <td>玄関ドア</td><td>・養生材撤去後、全体を確認</td></tr> <tr> <td>サッシ</td><td>・商品名、型番等を確認でき</td></tr> <tr> <td></td><td>・代表的な3～4か所程度に</td></tr> <tr> <td></td><td>・全体を確認出来るよう撮影</td></tr> <tr> <td></td><td>・サッシの商品名、型番を確認</td></tr> <tr> <td></td><td>・ガラスの性能を確認出来る</td></tr> </table>		玄関ドア	・養生材撤去後、全体を確認	サッシ	・商品名、型番等を確認でき		・代表的な3～4か所程度に		・全体を確認出来るよう撮影		・サッシの商品名、型番を確認		・ガラスの性能を確認出来る
玄関ドア	・養生材撤去後、全体を確認												
サッシ	・商品名、型番等を確認でき												
	・代表的な3～4か所程度に												
	・全体を確認出来るよう撮影												
	・サッシの商品名、型番を確認												
	・ガラスの性能を確認出来る												
<b>5) 設備機器</b> ・省エネ対策の有無にかかわらず写真を提出すること。 ・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したもの（主たる居室／その他の居室） ・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したもの（主たる居室／その他の居室） ・ダクト式で本体と給排水部分に分かれている場合は、本体の写真を撮影すること。 ・全箇所、型番を確認出来るように撮影したものをそれぞれ提出すること。 ・給湯部と貯湯部が分かれている場合は、それぞれを撮影すること。 ・給水ではなく、給湯のヘッド部の写真を撮影すること。（一般的には赤、オレンジ等の色の配置） ・白熱等の配置を使用し、給湯、給湯の目録が難しい場合はそれぞれの写真を提出すること。 ・給湯機が複数あり、給湯ヘッドも複数設置の場合はすべての箇所を撮影すること。 ・節湯性能の有無にかかわらず撮影すること。 ・設置箇所を確認出来るよう全景と、型番を確認出来るように撮影したもの（主たる居室／その他の居室） ・浴室シャワーはシャワーヘッドおよび洗い場水栓のそれぞれを撮影すること。 ・複数設置する場合は、すべての箇所を撮影すること。 ・浴槽の保温部を確認出来るように撮影すること。 ・断熱材と浴槽のセットを確認出来るように撮影すること。（浴槽本体で性能が出る場合を除く） ・出湯証明等での浴槽本体の性能記載が記載の場合は、ユニットバス本体の空室ラベルを撮影すること。 ・LDK、その他の居室、非居室の代表的な後所をそれぞれ撮影すること。 ・照明設備 ・照明が可能な制御、人感センサーを採用している場合は、その部分を確認出来るよう撮影すること。 ※壁スイッチ部での制御、リモコンでの制御、本体のセンサー感知部等、状況に応じ撮影すること。 ・設置したパネルのすべての数値を確認出来るよう撮影すること。（定電圧があっても構いません） ・パネル設置面が複数ある場合はすべての面を撮影すること。 ・パワーコンディショナーを撮影すること。 ・HEMSを設置する場合は撮影すること。													
<b>6) その他</b> ・主たる居室と階段室（非居室）を建築で区切る場合は、その部分を撮影すること。 ・建築主が建てた状態、現状の状態をそれぞれ撮影すること。 ・写真撮影箇所を示した図を添付すること。（マニキュア第3層P3-2.4 図に該当するもの） ・改修の場合は、改修前の現状および改修後をそれぞれ撮影すること。													
<b>7) 写真台帳への貼付</b> ・写真の縦横比を必ず縦に合わせて大きく貼付すること。 ※必要に応じ、一要素の写真を複数枚提出し、複数の要素を提出していただくようお願いいたします。 ・原則、当該箇所に記載の順に貼付すること。※外観、外壁、内観→外皮（断熱材、開口部）→設備機器の順に貼付すること。 ・写真台帳はカラー印刷で提出すること。 ・改修の場合は、改修前の現状および改修後を対照できるように部位毎に貼付すること。													

## ◆実績報告時の注意事項（工事費の支払い方法について）



令和 2 年度事業では



領収書の写し及び送金伝票などの写しの

**両方の提出が必要です！**

**少額でも現金払いはNGです！**

**必ず振り込んでいただくようお願い主様にご案内下さい。**

## ◆実績報告時の注意事項（工事費の支払い方法について）

### ●領収書の写しとは

○ ←青枠箇所に記載等があるか確認します。

- お施主様に渡す前にコピーを取って下さい。
- 振込金額ごとに領収書を発行して下さい。  
最後にまとめて発行しないで下さい。

領 収 証

○○○○様      00年00月00日

¥00,000-

○○○○○○

○○○○○○○○○○

○○○○○○○

印

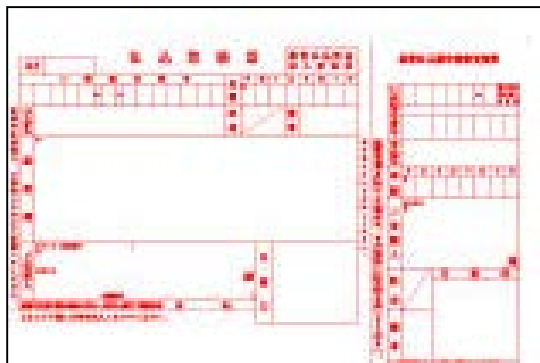


## ◆実績報告時の注意事項（工事費の支払い方法について）

### ●送金伝票とは

→金融機関等の第三者を通じた支払いが確認できる書類の写し。

#### ■振込受付書・明細書の写し



金融機関の受付印があるもの

#### ■通帳の写し

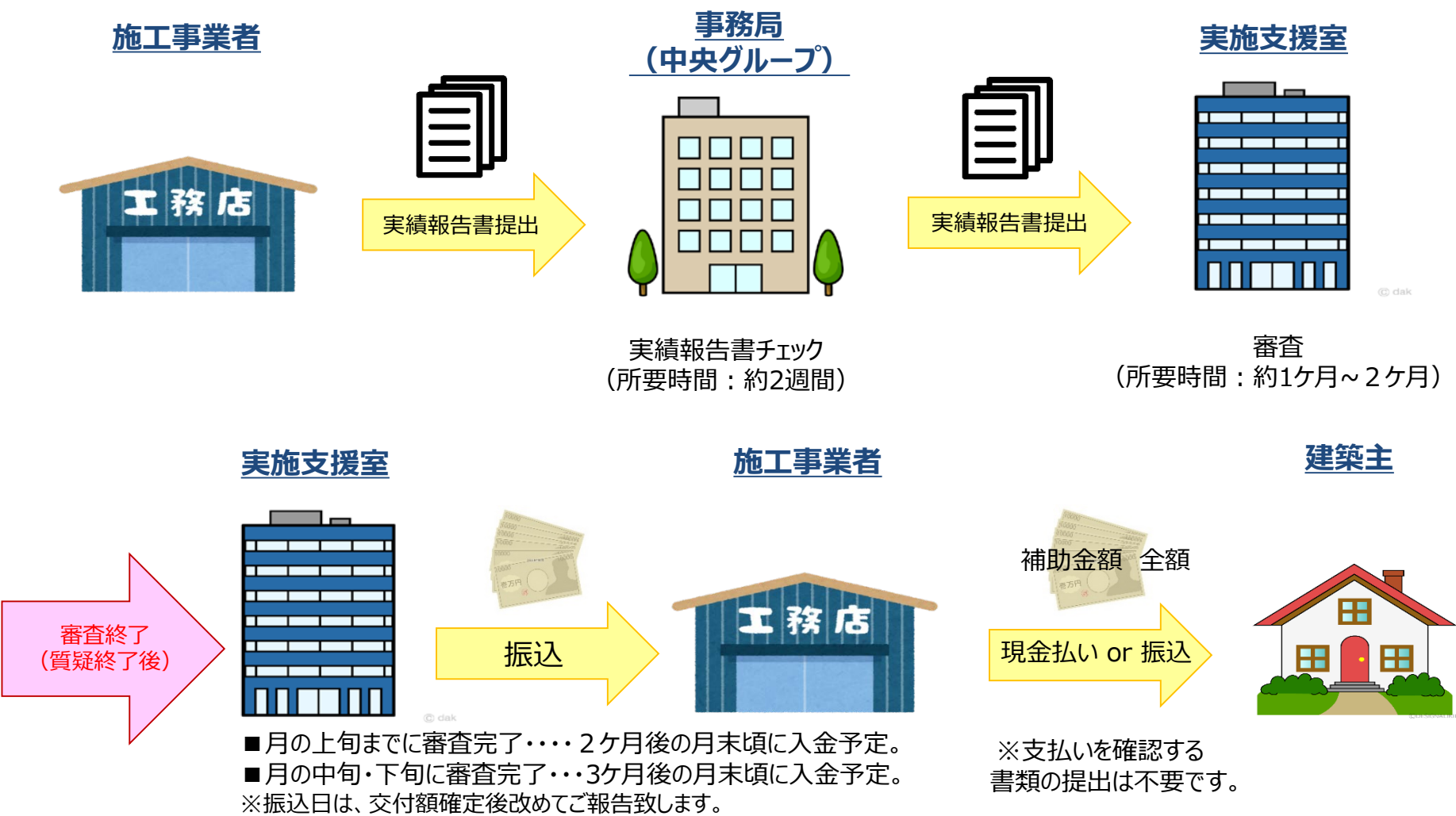


口座番号等の記載ページも提出  
本件の支払い以外の記録は隠してもOKです。  
しかし記録部分のみを切り取ったものはNG  
ページ全体の写しを提出して下さい。

#### ■インターネットバンキングの出入力金明細照会の写しでもOKです！

## ◆補助金を受け取るまでの流れ・還元方法について

補助金額は、実施支援室から施工事業者様へ振り込まれます。**全額建築主へ還元して下さい。**



## ■ 事務局運営費：30,000円(税抜)

施工事業者が対象

グループ採択以降（6月予定）にご請求

※補助金枠の利用の有無に関わらず、原則返金できません。

※加入した年度で1回のみご請求します。

## ■ 補助金申請物件ごとの事務手数料

交付申請：30,000円(税抜)

実績報告：30,000円(税抜)

※交付申請：補助金の割当が確定した際にご請求

※実績報告：実績報告の書類を事務局が受理した際にご請求

※補助金枠の利用の有無に関わらず、原則返金できません。

# 長く住み続ける住宅を建てやすい会 ＜グループ事務局＞ 株式会社中央グループ

〒950-0954

新潟県新潟市中央区美咲町1-4-15

TEL : 025-288-0966 FAX : 025-288-0976

Mail : [shinsei-support@chou-g.jp](mailto:shinsei-support@chou-g.jp)

担当：申請サポート部 補助金活用課 / 品質管理部